



## 高梁市・亀山市災害時相互応援に関する協定について

この度、岡山県高梁市との災害時相互応援協定を締結することとしました。締結に至った経緯ですが、私自身、昨年8月、東日本大震災の被災地を訪問し、遠隔自治体との都市間ネットワークの強化の必要性を認識し、ご縁のある複数の都市との連携を模索してきたなかで、今回、高梁市との応援協定締結の運びとなりました。両市は、1744年（延享元年）に伊勢亀山の藩主板倉勝澄氏と備中松山藩主石川総慶氏の両藩主が相互に配置換えとなる、いわゆる国替えが行われ、両家を藩主と仰ぐなど、深い歴史のつながりがあります。

また、両市は重要伝統的建造物群保存地区を有し、国の歴史まちづくり法の認定を受けて、まちづくりを進めるなど類似する点も多く、共通の想いでつながっています。

さらに、両市のライオンズクラブにおいて、昭和55年に姉妹提携を、また、高梁中学校と亀山中学校の生徒会が中心となって、平成元年姉妹校縁組を結び、互いが訪問するなど交流を深めています。

この協定書は「～藩主交代の歴史を共有するまち～高梁市・亀山市災害時相互応援に関する協定書」と題し、内容としまして、両市の歴史的つながりから、特に、この分野での応急復旧業務や復興業務における物的、人的支援の応援を中心としています。

また、この協定以外にも、平素からいろいろな分野（教育、文化など）での情報交換、交流に発展していければと、双方で協議していくことを確認したところです。

なお、調印式は4月17日、高梁市・近藤隆則市長をお招きして、本市で行う予定をしています。